

【Ⅱ 調査結果の概要（従業者4人以上の事業所）】

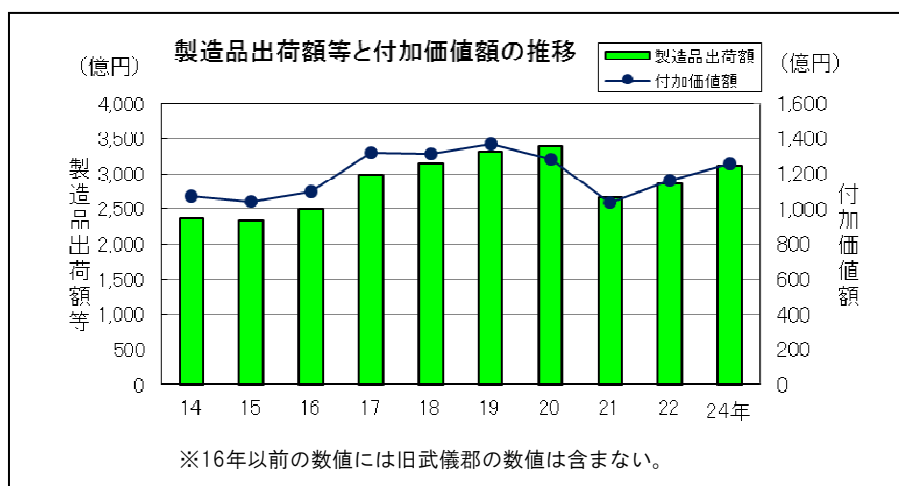
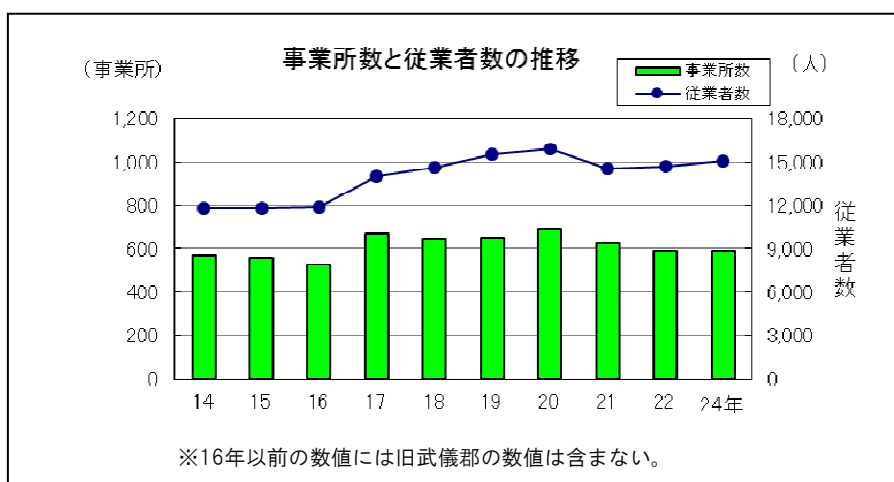
1 概況

事業所数	589事業所	(前回比±0.0%、増減なし)
従業者数	15,086人	(同 +2.5%、367人増)
製造品出荷額等	3,114億 641万円	(同 +8.7%、248億9,525万円増)
付加価値額	1,254億9,585万円	(同 +8.1%、94億2,540万円増)

主要項目の推移

区分	事業所数		従業者数			製造品出荷額等			付加価値額			
	前年比	17年=100	前年比	17年=100	前年比	17年=100	前年比	17年=100	前年比	17年=100		
平成	%	%	人	%	%	万円	%	%	万円	%	%	
14	568	△ 4.7	84.5	11,844	0.7	84.6	23,757,255	1.4	79.6	10,713,927	1.0	81.0
15	560	△ 1.4	83.3	11,793	△ 0.4	84.2	23,412,078	△ 1.5	78.4	10,452,420	△ 2.4	79.0
16	526	△ 6.1	78.3	11,880	0.7	84.9	24,897,970	6.3	83.4	10,976,304	5.0	82.9
17	672	27.8	100.0	14,001	17.9	100.0	29,847,039	19.9	100.0	13,234,308	20.6	100.0
18	643	△ 4.3	95.7	14,659	4.7	104.7	31,388,145	5.2	105.2	13,133,637	△ 0.8	99.2
19	651	1.2	96.9	15,515	5.8	110.8	33,255,933	6.0	111.4	13,693,687	4.3	103.5
20	690	6.0	102.7	15,936	2.7	113.8	33,901,599	1.9	113.6	12,805,508	△ 6.5	96.8
21	625	△ 9.4	93.0	14,542	△ 8.7	103.9	26,670,315	△ 21.3	89.4	10,388,152	△ 18.9	78.5
22	589	△ 5.8	87.6	14,719	1.2	105.1	28,651,116	7.4	96.0	11,607,045	11.7	87.7
24	589	0.0	87.6	15,086	2.5	107.7	31,140,641	8.7	104.3	12,549,585	8.1	94.8

注) 平成16年以前の数値には旧武儀郡の数値は含まない。



2 事業所数

～前回と比べて変化なし～

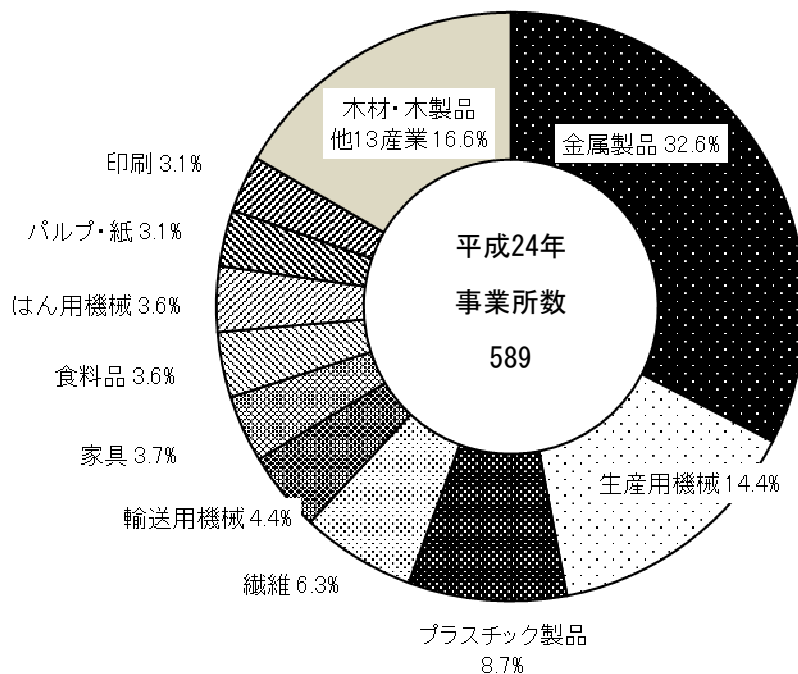
事業所は589事業所で、前回と変化はない。

産業別にみると、増加したのは、金属製品製造業など8産業である。一方、減少したのは、繊維工業など11産業となっている。

また、従業者規模別にみると、特に4～9人事業所で大きく減少している。

産業別構成比…①金属製品製造業	192事業所	32.6%
②生産用機械器具製造業	85事業所	14.4%
③プラスチック製品製造業	51事業所	8.7%
増加産業…①金属製品製造業	+5事業所	
(増減値) ①輸送用機械器具製造業	+5事業所	
③生産用機械器具製造業	+3事業所	
減少産業…①繊維工業	△4事業所	
(増減値) ①プラスチック製品製造業	△4事業所	
③はん用機械器具製造業	△3事業所	

事業所数の産業別構成



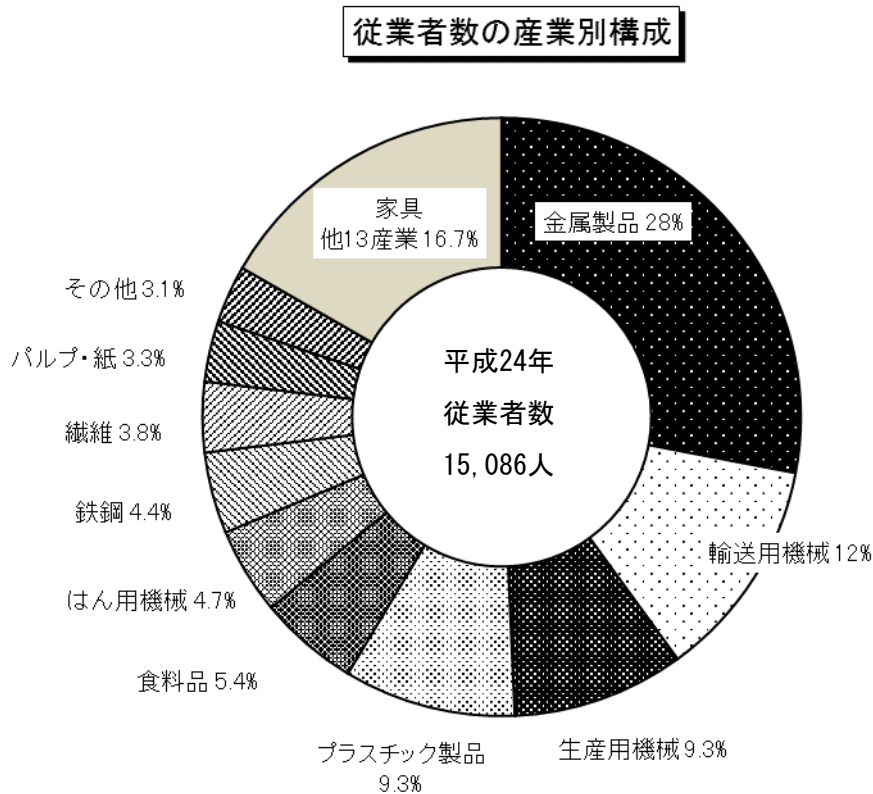
3 従業者数

従業者数は15,086人で、前回に比べ367人（前回比+2.5%）増加している。

産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業など14産業である。一方、減少した産業は、はん用機械器具製造業など9産業である。

また、従業者規模別にみると、100～200人事業所で大きく増加した。一方、大規模事業所（300人以上）では減少した。

産業別構成比…①金属製品製造業	4,227人	28.0%
②輸送用機械器具製造業	1,808人	12.0%
③生産用機械器具製造業	1,408人	9.3%
増加産業…①輸送用機械器具製造業	+336人	
（増減値）②鉄鋼業	+84人	
③生産用機械器具製造業	+77人	
減少産業…①はん用機械器具製造業	△233人	
（増減値）②ゴム製品製造業	△156人	
③窯業・土石製品製造業	△62人	



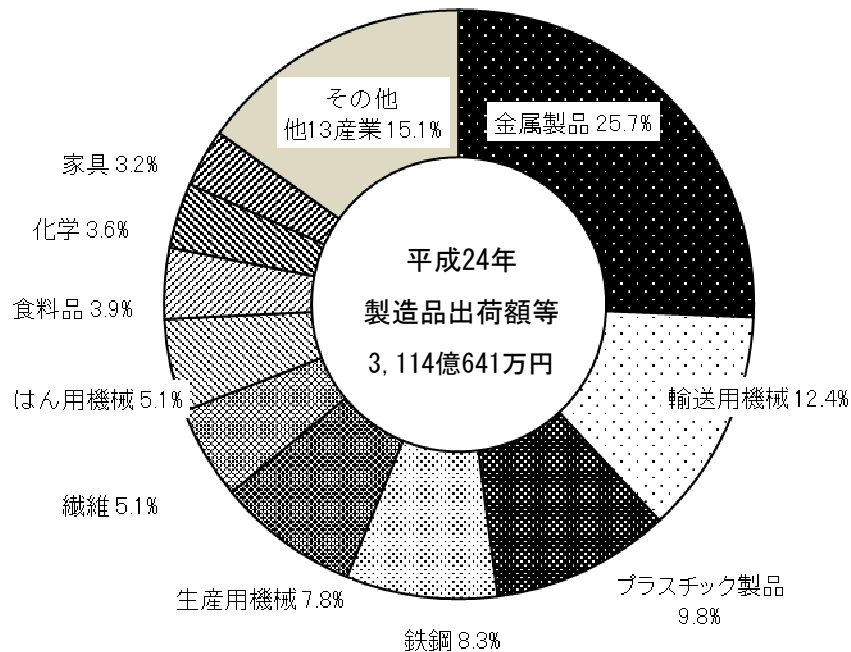
4 製造品出荷額等

製造品出荷額等は、3,114億641万円で、前回に比べ248億9,525万円(前回比+8.7%)増加している。

産業別にみると、増加したのは輸送用機械器具製造業など17産業である。一方、減少したのはゴム製品製造業など7産業である。

産業別構成比…①金属製品製造業	800億6,435万円	25.7%
②輸送用機械器具製造業	387億6,743万円	12.4%
③プラスチック製品製造業	305億9,020万円	9.8%
増加産業…①輸送用機械器具製造業	+105億5,576万円	
(増減値) ②金属製品製造業	+61億5,175万円	
③プラスチック製品製造業	+38億8,824万円	
減少産業…①ゴム製品製造業	△52億6,277万円	
(増減値) ②はん用機械器具製造業	△30億5,243万円	
③窯業・土石製品製造業	△19億 176万円	

製造品出荷額等の産業別構成



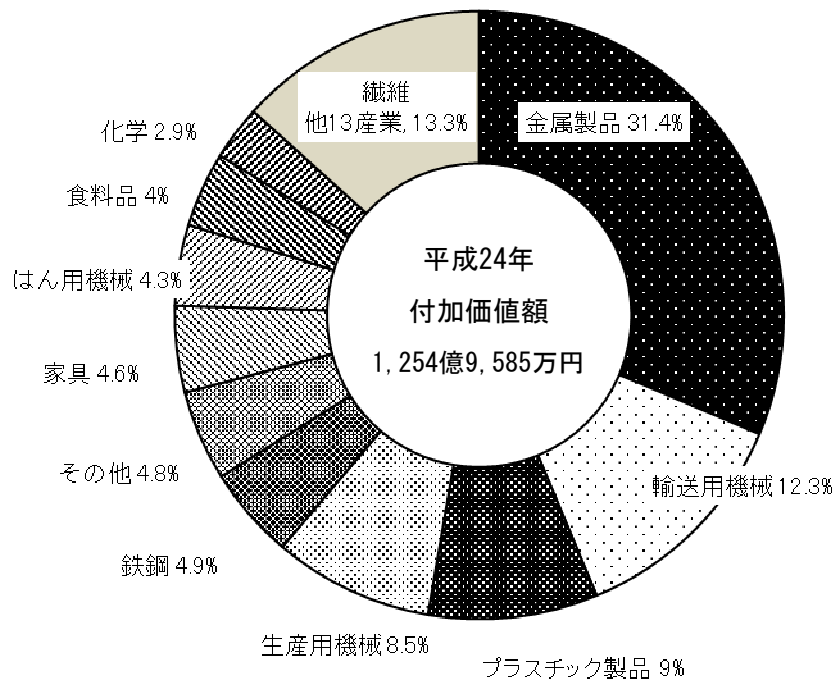
5 付加価値額

付加価値額は、1,254億9,585万円で、前回に比べ94億2,540万円（前回比8.1%）増加している。

産業別にみると、増加したのは輸送用機械器具製造業など16産業である。一方、減少したのはゴム製品製造業など8産業であった。

産業別構成比…①金属製品製造業	394億2,949万円	31.4%
②輸送用機械器具製造業	153億9,465万円	12.3%
③プラスチック製品製造業	113億4,265万円	9.0%
増加産業…①輸送用機械器具製造業	+49億6,777万円	
(増減値) ②金属製品製造業	+37億3,905万円	
③生産用機械器具製造業	+25億8,755万円	
減少産業…①ゴム製品製造業	△27億3,526万円	
(増減値) ②はん用機械器具製造業	△14億4,656万円	
③窯業・土石製品製造業	△9億3,077万円	

付加価値額の産業別構成



6 生産性

労働生産性（従業者1人当たりの製造品出荷額等）は、平均2,064万円となり、前回に比べ117万円（前回比+6.0%）増加した。また、付加価値生産性（従業者1人当たりの付加価値額）は、平均832万円となり、前回に比べ43万円（同+5.4%）増加した。

産業別に前回と比較すると、労働生産性は、石油製品・石炭製品製造業など16産業で増加し、ゴム製品製造業など8産業で減少した。また、平均より高いのは、石油製品・石炭製品製造業など11産業、一方低いのは、なめし革・同製品・毛皮製造業など13産業となっている。

付加価値生産性は、石油製品・石炭製品製造業など16産業で増加し、電子部品・デバイス・電子回路製造業など8産業で減少した。平均より高いのは、家具・装備品製造業など8産業、一方低いのは、電子部品・デバイス・電子回路製造業など16産業となっている。

7 産業別製造業の生産

～基礎素材型産業が54.7%を占める～

製造業がどのようなものを製造しているのか、製造業を大きく3つの産業型に分け、それぞれの事業所数の相対的な割合を見ると、基礎素材型産業が54.7%、加工組立型産業が25.8%、生活関連・その他型産業が19.5%となっており、前回と比べると加工組立型産業が1.4ポイント増加、生活関連・その他型産業が1.2ポイント減少している。

岐阜県全体では、基礎素材型産業が45.3%、加工組立型産業が23.7%、生活関連・その他型産業が31.1%となり、関市は基礎素材型産業の占める割合が高くなっている一方、生活関連・その他型産業の割合が低くなっている。

8 21市の状況

～関市の事業所数2位、従業者数3位、製造品出荷額等4位、付加価値額3位～

[事業所数]

関市の事業所数は、岐阜市に次いで2番目に多い。

岐阜県全体では6,401事業所で、前回に比べ127事業所（前回比△1.9%）減少した。21市のうち海津市など6市で増加したが、岐阜市など14市で減少した。

[従業者数]

従業者数は、大垣市など11市で増加したが、美濃加茂市など10市で減少し、岐阜県全体では357人（前回比△0.2%）減少した。

[製造品出荷額等]

製造品出荷額等は、可児市など15市で増加したが、各務原市など6市で減少し、岐阜県全体では1,806億円（前回比+3.7%）増加した。

[付加価値額]

付加価値額は、高山市など14市で増加したが、各務原市など7市で減少し、岐阜県全体では48億円（前回比+0.3%）増加した。